

1 基本情報

事業名称	みなみ花咲くまちづくり推進事業				
事業目的	南区の魅力である豊かな自然と人のつながりを活かし、花の植栽等の事業に取り組むことにより、南区を花で彩り、色彩豊かな美しいまちなみを創ることを目的とする。				
事業概要	(1)各校区内の遊休地等を活用したコミュニティガーデンを設置し、花を植栽する。 (2)花づくりのボランティア活動を通してまちづくり活動の輪を広げる。また、校区間の交流を図る。				
実施主体	みなみ花咲くまちづくり推進協議会	実施場所	校区地域会館周辺及び遊休地	実施時期	令和7年4月1日から 令和8年3月31日まで

2 設定指標

活動指標	各校区(地区)の年間平均活動回数		R4	R5	R6	R7
		目標	24回	24回	24回	24回
		実績	31回	29回	17回	19回
成果指標	南区のまちなみは、花と緑で彩られていると思う人の割合 (南区ふれあいまつり開催時に実施するアンケートにて調査。 R4、R5はアンケート未実施)		R4	R5	R6	R7
		目標	-	-	50%	50%
		実績	-	-	89%	92%

3 事業評価

決算額 1,938,202 円

①妥当性	○	②費用対効果	○	⑤総合評価	○	評価基準
本事業は、区民自らが南区を花で彩り、色彩豊かな美しいまちなみをつくることで、住民相互の親睦と交流が深まるとともに、区民意識の醸成を図ることが出来る。魅力ある地域づくりの推進にあたっては、区民自らが自区に愛着と誇りを持つ必要があるため、行政が実施すべき事業である。		本事業は、交流促進や緑化によるまちなみづくりに寄与する効果が期待できるが、近年は参加状況の変化により校区間で効果に差が生じている。今後は、実施手法を見直し、本来の効果発現につなげていく必要がある。		推進員を中心に、ボランティアが各小学校区にコミュニティガーデンを設置し、色彩豊かな美しいまちなみを創っている。こうした花づくりのボランティア活動を通してまちづくり活動の輪、コミュニケーションの輪が広がっている。一方で、地域の高齢化や参加者の減少により地域コミュニティが希薄化しており、新たなボランティアの育成が必要となる。		◎：非常に高い水準で達成 ○：十分な水準で達成 △：達成度が限定的 ×：達成されていない -：評価対象外
③庁内・公民等連携	△	④区の計画への寄与度	△			
本事業は地域との連携により推進することを前提としており、協議会内においては一定の交流や情報共有が図られている。一方で、庁内外の他団体や事業との連携は限定的であり、取組の広がりには課題がある。		本事業は、地域住民のボランティアによりコミュニティ活性化を図るものであるが、参加者の固定化や高齢化が進み、新規参加者の確保や活動の持続性に課題がある。				

4 課題と対応方針及び今後の方向性

課題	ボランティアの高齢化、担い手の減少が顕著である。	今後の方向性	継続
対応方針	高齢化や担い手の減少等の課題があることから、事業内容の見直しを行い、経費削減・効率化をめざしていく。		